いわき民報

發行所 いわき民報社
平市田町四六番地 電話三八一番
編輯兼發行人 巳寛千輝
印刷人
定價一ヶ月十五圓 一部五十錢
（但月曜を除く）

湯本町見事供米完遂
二十三日郡下のトップ切つて

低調だつた郡下の供米も年末の迫るにつれて漸く本格化、湯本、勿來の兩町がトップ、爭いを演じていたが遂に 十三日正午湯本町が割當千六百九十俵に對して一俵超過の千六百九十一俵で見事郡下のトップをきつて晴れの凱歌を奏した、なおイモの供出で僅か割當の六〇％が足踏みをしていた川部村も去る二十日見事に割當を突破一一九％の優秀な成績で完遂した

市の公安委員を選任
二十六日に臨時市會を招集

本年掉尾の臨時市會は二十六日午後一時招集、本年度追加豫算、市稅賦課徵收條例改正、市消防團設置條例改正等の諸件を附議するが、同時に自治警察署問題等解決に當る公安委員選任についての協議も行われる

市內小學校給食委員會

市ない各小學校の給食委員會は二十四日午前十時から第四小學校に開き、今後の運營並に給食完全實施法などについて懇談する

學生クリスマス
平地區ＹＭＣＡが

大河內一郎醫學博士を理事長とし新妻良平氏を賛助員とする平地區ＹＭＣＡでは二十五日午前十時半から市公會堂日本間で學生クリスマス大會を開催、先づ磐中生の開會の挨拶、參會者一同のもろびとこぞりての齊唱、聖書朗讀につゞいて祈りを捧げて第一部を終り、續いて第二部に入り磐中、磐女、平女、平工生等々の歌や詩の朗讀劇等々にたのしい一日を心から祝福することになつた、なお戰後最初の催しであり學生連がいづれも趣向をこらしているので非常な人氣を呼んでいるが一般の來場も歡迎する

ナス目的の貯蓄勸奬
二十五日から三日間を實踐日に

市では年末ボーナス期となつたので、インフレ防止、經濟態勢の確立の一助にと浮動購買力の抑制をはかるため、本月いつぱいを救國貯蓄特別運動期間と定め、貯蓄勸奬につとめているが、特に來る二十五日から三日間を實踐日と定めて市民の自發的蓄積運動を強力に展開せしめることゝ決つた

優秀トウト電球配給
きょうから一週間

待望の電球が三千二百個が二十四日から一週間配給されます—今度の電球はトウトランプの優秀品で、電燈料金の受領書持參などというやかましいこともなく、誰でも綜合通帳を持つて市配給課にいけば配給券が貰えることになつている、値段は次のとおりで配給所は東京電氣商品株式會社出張所（田町白菊酒店）及び六丁目のさかいや商店と平強の草野屋商店である

◇四十ワット一八円四〇錢
◇六十ワット二三円六五錢
◇百ワット三八円二五錢

お正月用のタバコ特配

市ないのお正月用タバコの特配は二十五日から一齊に行われる、各配給所手持ち品でやるので、朝日やきんしのところもあるし又巻タバコの手持ちのないところはのぞみ等で行うことになつている、量は男女とも十本ずつ

防火運動
きょうから三日間

市では消防團と協力二十三日からの三日間を歲末防火運動期間として市民の防火意識の昂揚に努めることゝしたが、最終日の二十五日には各月のかまど檢査もする

民報論壇
公安委員の選定に就て

警察制度の劃期的改革によつて平市に於ても來る二十六日の市會に於て三名の公安委員が決定する、申すまでもなく公安委員の任務は自治警察の運營に當ることを以つてその仕事とするのであつてその任務たるや重且つ大と云はなければならぬ この委員の決定は市長が推薦し市會が承認を與へればそれで決まるわけであるが、こゝで問題となるのはその人選である、云うまでもなく警察行政が公平無私に執行されなければ市民の不幸はこれ以上ないので この人選には人格高潔にして嚴正公平な適材を起用しなければならぬ、果して鈴木市長は如何なる人物を推薦するか全市民の注視は此の一點に集中されている、勿論この人選には一つの制限があり即ち警察の前歷が無いこと、一黨一派に偏した人物でないこと等々やかましく規定されているが、要は全市民が納得の行く人材でなければならない、縣に於て決定した公安委員の顔觸れを見ると福島から岩永醫博若松市の林平藏氏相馬の門馬直記氏で何れも公平に物を見る目を備えた人々でわれわれは滿腔の賛意と敬意を表しこの人々によつて縣の警察行政は先づ公平に運營されるものと期待し安心感を深めている次第である

この民主的警察の確立に於て最も懸念されることは鈴木法相も注意している如くボス的勢力に支配されはしないかと云うことである若しもそうした傾向が多少でもあるとすれば恐るべき結果が生じ安んじて安公維持の任務をまかせることが出來なくなる、現在平署には八十名の警察官が部內にだけ常備されているが、自治警察になると三十三名となりこの少數の警察官によつて治安維持に當るわけでその署長も公安委員會に於て任命することになり隨つて公安委員は警察官の活殺自在の機能を有するわけであるからこの委員の選定はもつとも愼重を期さなければならない（田原）

學生の學生による學生のためのクリスマス大會
十二月二十五日午前十時半—午後三時
平市 公會堂 日本間
入場無料 一般來場歡迎
なるべく晝食御持參
中等學生 醫學大學生 ＯＢ諸氏奮つて御參加下さい
平地區ＹＭＣＡ
理事長 醫學博士 大河內一郎
事務所 才槌小路四 （電五八八）

Ｘマスツリー
及び材料
可愛いお子様方へ贈物
正月用羽根
羽子板，カルタ類
森下商店
平市一丁目

衣類寶石骨董
貴金屬
高價買入
平市南町 中央會館

內鄕のガラス泥捕わる

內鄕町白水坑夫武藤功（二八）運搬夫太田克夫（一九）—いづれも假名—は去月上旬全町雜貨商高原龍太郎さん（五五）のリヤカーを盜み出しタイヤ及びチューブをとつて事たほか十月中には全町炭鑛業笹島鐵雄さん方現場事務所のガラス十二枚を、去月十七日夜は內町小學校の窓ガラス六十六枚を盜んだのみか前後數回にわたり全町を中心に窓ガラス專門に百七十九枚を盜んでいたこと發覺、二十三日平署へ

古河好間鑛の慘事
二名中毒死、三名が行方不明
負傷者三名のうち二名は重態

二十二日午後六時半頃好間村古河好間炭鑛堅坑中央坑で採掘作業中誤つて舊廢坑ないに突入したゝめ、ガス發生と出水をみ中毒死二名、行方不明三名、負傷者三名を出した、目下必死の復舊作業中だが、復舊には相當の日時を要するものとみられている

◉中毒死 採炭夫色摩二郎（四五）運搬夫岡部正三郎（二五）◉行方不明 採炭夫清井信良（二二）全千葉文理（二一）全富澤末吉（四二）◉負傷（重態）採炭夫寺島才吉（二七）全大澤博（三八）輕傷全永藤勝雄（三〇）

ＡＭＰクラブ

ＡＭＰクラブでは二十三日午後六時から四丁目マルトミホールに本年最後の委員會を開いて、明年度の事業計畫その他を協議した

いわき寸言

◇冷い師走、苦しい師走、あわたゞしい師走、だが誰も心たのしい師走とは申さぬでらたてけれ？

◇左派、右派、對立、社會黨の內部もうるさいこと、片山さん御感想は？

◇民主／＼と猫もしやく子もお題目のごとくにとなえる、だがホントウの民主とはネエ—御存知か知ら

眞野古墳雜記

根本忠孝

去る十六日の本紙上に『眞野古墳發掘見學の記』を書いたが、私は農林省から食糧管理委員を囑託されている關係、産米供出の督勵運動上、眞野古墳發掘當時もそう〱歸村したので發掘見學を十分にするを得ず、遂に不十分の事を書いたのであるから、それを補う意味で更に今回の雜記を書いた次第である。

このあたり円墳多し薄すゝき

この句は去る昭和六年盛夏の候、諸根樟一君と石愛相郷土史を共著で書いて見ようと話合で、相馬郡眞野村字八幡原の古墳群を調査した時の私の舊句である。その頃から私は眞野古墳には關心を持つていたのである。

先史時代（石器時代、彌生式時代）の次の時代が即ち古墳文化時代である。この時代のことは、其次の時代に出來た古事記、日本書記に書かれているばかりでなく支那、朝鮮との交通もあつて、これ等の國々の鏡などが古墳から發見され又これ等の國々の當時の歴史にも吾が古墳時代の事が多少は書かれて殘つているのである。

そこで古墳文化時代のことを年代に當てはめれば西暦二三世紀頃がその始めであつて大化改新頃がその終りであることは考古學者の一般の定説である。而して此の眞野古墳群を發掘遺物に徴して考察するときは、その末期頃か？少しさかのぼる時代であることには何人も異論のないところであろう。

古墳は古墳文化時代の墳墓である。墳墓は人間死後の安住所であり、又人間死後を飾る記念塔でもある。吾が大和民族は祖先を尊ぶ美風を有し且つ祖先人の『みたま』がこの墳墓に靜まりますとの信念にもとづいて墳墓を崇嚴ならしめ表現したものが、即ち該時代の偉大なる古墳として今日に現存する所以である・古墳には積石墳、円ふん、方ふん、前方後円ふん、上円下方ふん、横穴ふんなどがある。眞野古ふん群には円ふん多く横穴ふんこれに次ぎ・前方後円ふんは僅か一基に過ぎないのである。

この時代には『なきがら』を棺に入れて葬るには木棺の外に舟形木棺、陶棺、かめ棺箱形石棺、長持形石棺、舟形石棺、家形石棺、粘土廓、乾漆棺などが用いられているが眞野古ふん群の中には粘土廓もあれば粘土石廓もあり稀れには小石を粘土で積んだ舟形石廓もあつた。

この舟形石廓は、舟葬から來た風習であると云はれ、ヨーロッパはノルマンといつて海上活動の盛んな人々は『なきがら』を舟形棺に入れて葬送している。この習慣は南洋方面の島の土人にもあるとのことで。吾が大和民族にも該風習があつたことは眞野古ふんでも立證される。これは死人が海を渡つて遠き國に行くのであるとの迷信から舟形棺に乘せて葬つたものであると云う。

× × ×

この雜記の稿をむすぶにあたり過般眞野の前方円ふん發掘當時、その傍に立ちて吟じた駄句を書いてかく筆することゝする。

時雨けり長者のふんか圓形

（完）

新川町新和會成る

會長には五十嵐雄二博士を

市ない新川町では二十一日午前一時から町ない大神宮神殿に町民大會を開き町民の親睦と町ないの發展を期し民主日本建設の基盤となる明朗なる町を建設しようと新和會を結成、會長には醫博で五十嵐病院長である五十嵐雄二氏を推した、なほ同會には火防、衞生、文化教養、庶務、會計の五部も置かれた

家督相續の屆は年內に

去る五月三日以前に於いて戸主が死亡したのにもかゝわらずまだ家督相續のしてないものは今年中にその手續をなさぬと新民法施行の明春一月以降は家督相續に關する一切の規程が適用されなくなるから注意、未屆者はこの際早急に手續をとるようにと注意を發している

結論を得られずに 各校で討議實踐へ

男女學生交友問題

市內新制中等學校生徒代表二名ずつを集めての保導會例會は二十日平第一小學校に開いてさきの例會に於いて申合せた交通整理員をあげての交通道德昂揚の實施後の實際面に對する反省をした上、男女學生の交友問題について討議したが、問題が問題だけに議論百出、何等具体的結論も生まなかつたので男女學生相互が自己反省と同時に敎養につとめるとゝもに各校代表はそれ〲クラス會を開いて討議、學校內、列車內映畫館內等においてのとるべき態度等を討論それ〲に最適の方法を選んで實踐面に移すことゝした

最優秀賞は眞木君へ

磐中校內辯論大會

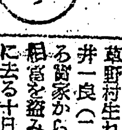
磐中では二十二日終戰後初の校內辯論大會を開催した、大橋校長及び猪俣部長の挨拶につづいて二十名の選手連が若人の意氣に、夫々得意の熱辯を振い極めて活況を呈した、審査長には熊谷教官が當つたが、結果は左のとおりで最優秀賞は辯論部委員長眞木一夫君が獲得した

◇最優秀特賞　英語辯論（A BETTER WAY）五年眞木一夫

◇特別賞　理想に生きよ五年高野光◇一等より良き道へ五年眞木一夫◇二等人生は短いお互に仲良く暮そう四年槃谷久三◇三等磐中のために四年會田令◇四等人生の眞意義五年原一行

電氣
工具
ラジオ
その他

一個でも迅速に お屆けします



◉電氣工事請負◉

湯本町三函（電二一番）

大隅電氣商會

初春興行

新春一月上映の 獨占名畫陣

大河內傳次郎 入江たか子

幸福への招待

エノケンの ちやっきり金太

高峰秀子の 愛よ— 星と共に

福島縣での封切 ソレン・フイルム・スタヂオ、リ映畫提供の モスクワの音樂娘

山田五十鈴 土方與志 女優

御期待を乞ふ

新春に贈る 第二イワキの 東寶の傑作篇

內鄕 第二イワキ 電話十二番

脅迫男御用

草野村生れ住所不定採炭夫石井一良（二七）は去月下旬ごろ實家から衣類五十點一萬円相當を盜み出したのを手初めに去る十日好間村北好間推木平田村勇三郎さん方の留守をねらつて衣類五點を盜み又二十日午前十一時ごろ內鄕町御台境の鐵道線路附近で通り合せた好間村中好間山崎万次郎さん（四九）に金を貸せと脅し逃げる全人の上衣ポケットから三千八百八十円を强奪、更らに二十二日午前十一時ごろも全地內で氏名不詳の二十四、五才の男から全額五十円を奪つた上全正午ころまたも全町鑛製作工員秋保春保さん（二八）に難癖つけて顔面を毆り五日間の負傷をさせて所持した現金三十四円を奪つたところを折よく通り合せた平署員に追跡されて捕われた

街頭募金

二十二日街頭募金の結果は平工、三千八百四十九円一錢、平女商、五千十七円三十六錢の計八千八百六十六円三十七錢

植田の火事

植田町岩下海岸製鹽工場（東田富雄氏所有）から二十一日午後一時發火、隣接の製鹽業鈴木俊秋、鈴木恒夫、阿部元馬上秋作、稲井八郎さんの五戸五棟を燒いた、原因タベのコの火損害十萬円

平市消防職員緊急募集

資格　男子滿二十才以上三十才迄

待遇　吏員、市給與規定ニヨル

採用人員　機關員　二名（自動車運轉免許證所持者）　放水員　五名

詮衡　十二月二十五日午前十時　於 平市消防本部　履歴書、筆記具携行

平市消防團　平市役所

いよ〱發賣

磐中敎官 中柴光泰先生著

英文問題集

定價二十五圓

部數限定版ニ付賣切ヌ中

平市紺屋町　加納書房

近日開店　せり市

古着洋服、布團並綿、自轉車
ラヂオ、家具、什器、疊表、
皮類、電氣具、瀬戸物、金銀
時計、書畵、骨董

平驛前　伊東事務所內

委託販賣共同商會